

『営農アンケート』集計結果の説明

～徳王子・岸本地区集計～

1

令和3年2月8日
香南市農林水産課

『営農アンケート』集計結果の説明目的

- 営農アンケートの結果を地区会合の参加者間で共有し、**地区での共通課題を参加者で確認**する。
 - 農地所有者や農業者の年齢構成を知り、後継者の有・無を含め、今後の地区の農業継続性の現状を理解する。
 - 農業者や農地所有者の農地の現状認識を確認する。
 - 持続可能な農業に向けての考え方の傾向を共有する。
- アンケートの内容をできるだけ可視化し、地区の会合で**活発な議論を呼ぶ材料**とする。
 - 自由記述意見をコメントとして記述し、できるだけ生の声を再現する。

注) 営農アンケートの利用について

- ① アンケートでご回答いただきました内容は、『人・農地プラン』事業関係の事項に利用させていただき、他の目的では使用しません。
- ② 地区の会合等でアンケートの集計結果のまとめを説明する際に、お名前などを含めてプライベートな事項は出ないように処理したうえで、コメントを利用させていただきます。

地区の皆さま、ご了承をお願いいたします。

『営農アンケート』の概要

- 目的：人農地プランの策定に向けて、農地所有者、後継者、耕作者の現状、今後の営農の意向を把握する。
- 対象：香南市にある農地の所有者、後継者、耕作者
- 方法：郵送でのアンケートへの回答、または農業委員・推進委員による戸別訪問での聞き取り
- 使用データ：農家台帳（令和元年12月16日時点）
- 件数：宛先不明等を除いた実質 5,864件 （総数 7,302件）
- 実施：令和元年12月～令和2年7月
- 回収終了：令和2年9月23日
- 回収件数：3,330件 （56.8%）
- 面積：1520ha （64.4%）

徳王子・岸本地区の営農アンケート回収状況

5

(注) 農業委員・農地利用最適化推進委員による個別訪問調査も含む

- 592通送付し返信数は334通であり、返信率58.1%となった。
- 返信者の農地所有面積集計では、地区全体の73.8%となった。

表1) 地区別返信率 (人数)

No.	地域	実質数	返信数	返信率
1	佐古	303	185	61.1%
2	西野・大谷・深淵	560	319	57.0%
3	下井・上岡	314	208	66.2%
4	東野	433	216	49.9%
5	富家	285	156	54.7%
6	香宗	235	143	60.9%
7	吉原	290	146	50.3%
8	古川	200	130	65.0%
9	赤岡	174	118	67.8%
10	徳王子・岸本	592	344	58.1%
11	山南	484	266	55.0%
12	山北	380	203	53.4%
13	西川	247	140	56.7%
14	東川	209	113	54.1%
15	舞川・撫川・奥西川	103	57	55.3%
16	西山・坪井	397	231	58.2%
17	十ノ木・上夜須	181	95	52.5%
18	夜須川・細川・国光	207	124	59.9%
19	羽尾	36	26	72.2%
20	手結山	234	110	47.0%
	合計	5,864	3,330	56.8%

表2) 地区別返信率 (面積)

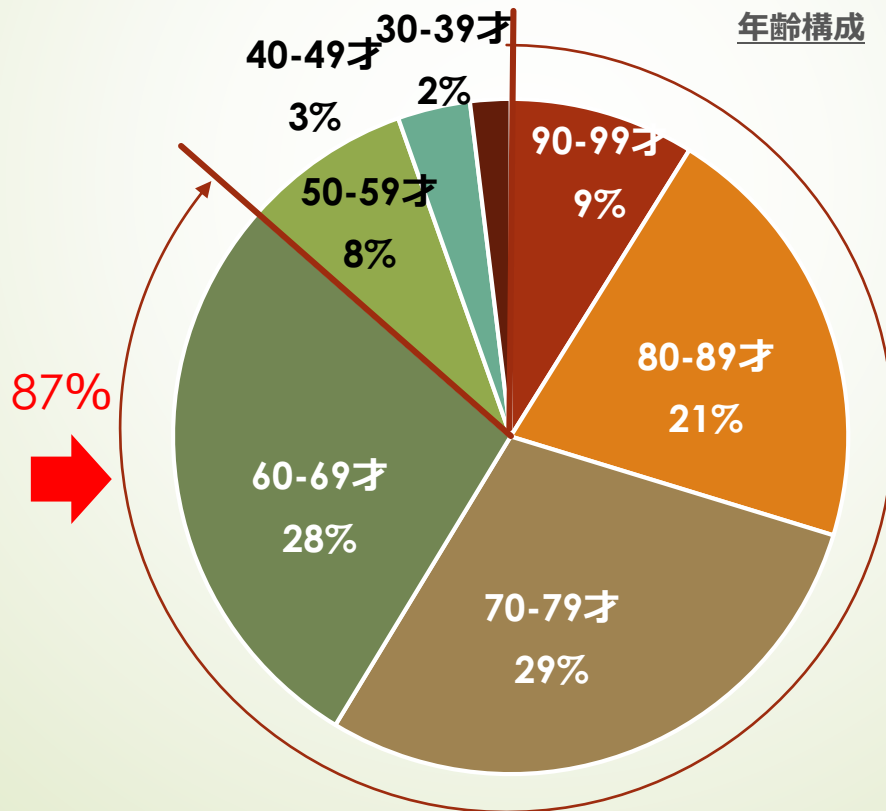
No.	地域	現況面積(m ²)	返信(m ²)	返信面積比率
1	佐古	1,297,261	744,122	57.4%
2	西野・大谷・深淵	2,360,164	1,572,798	66.6%
3	下井・上岡	1,314,818	908,980	69.1%
4	東野	1,825,753	1,048,214	57.4%
5	富家	925,220	618,222	66.8%
6	香宗	739,417	455,440	61.6%
7	吉原	809,809	424,597	52.4%
8	古川	437,288	260,175	59.5%
9	赤岡	580,401	450,114	77.6%
10	徳王子・岸本	3,020,829	2,228,900	73.8%
11	山南	2,365,532	1,459,258	61.7%
12	山北	1,749,997	1,196,689	68.4%
13	西川	1,107,364	738,328	66.7%
14	東川	777,707	485,386	62.4%
15	舞川・撫川・奥西川	277,516	143,200	51.6%
16	西山・坪井	1,600,275	1,044,408	65.3%
17	十ノ木・上夜須	801,984	453,988	56.6%
18	夜須川・細川・国光	695,643	402,999	57.9%
19	羽尾	134,915	73,671	54.6%
20	手結山	781,247	491,765	62.9%
	合計	23,603,141	15,201,256	64.4%

アンケート集計 (1)

6

アンケート回答者（農地所有者、農業者）の年齢構成

- 回答者（農地の所有者、農業者）の87%は60歳以上の状況である。



設問への回答数 : 259

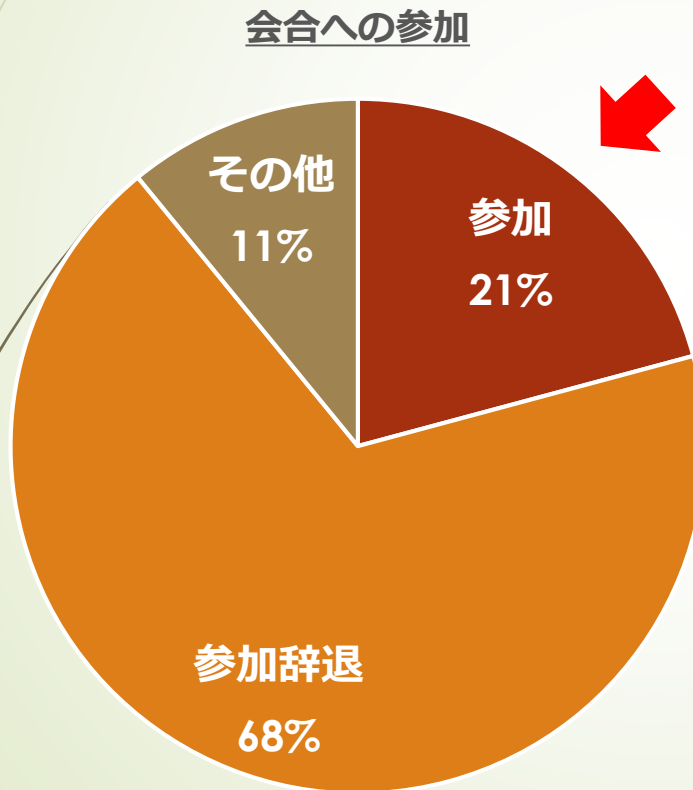
アンケート集計 (2)

地域会合への参画意向

7

話し合いへの参加希望 (取組に対する意見等)

- 回答者の21%は地区会合に参加を希望されている。
- 参加辞退者も、地区会合の内容は知りたいとの意向を持っている。



コメント：

- ・話し合いの参加は困難ですが、地域の方針の連絡をいただきたい。
- ・話し合いへの参加は困難だが、方向性や結果は知りたいです。
- ・話し合いに参加は困難。(東京在住)
- ・(農地を)購入以来、香南市を離れていますので(会合へ出る)資格はありません。

設問への回答者数：293

アンケート集計 (3)

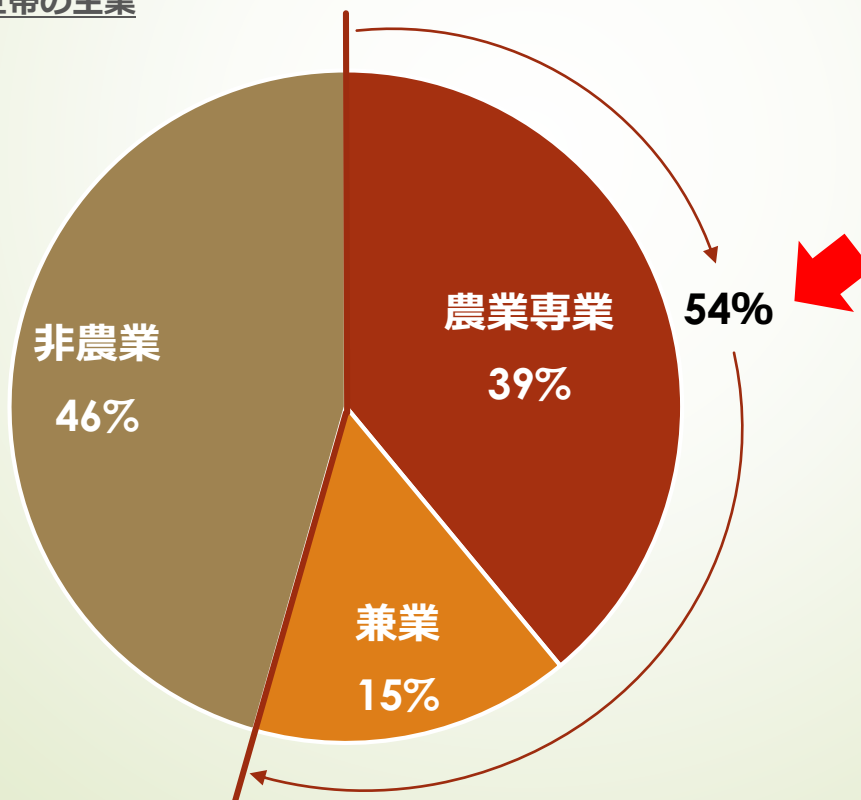
世帯の生業

8

Q1. あなたの世帯は、どのような世帯ですか？

- 専業、兼業合わせても農業を営む割合は54%となっている。
- 農業を営んでいない人は46%であった。（離農し他の職業へ、相続、高齢、施設入所、県外など遠方に転出：土地持ち非農家）

世帯の生業



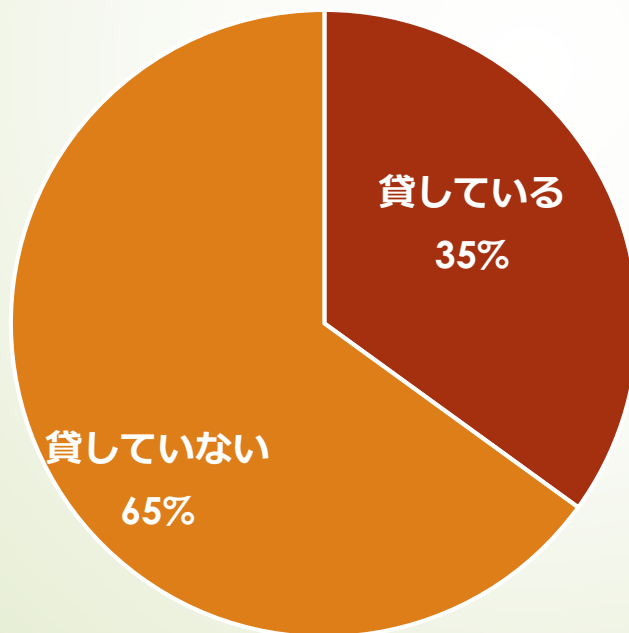
コメント
・県外在住で農業に関与していない。

設問への回答数：318

Q2. 現在、人に農地を貸していますか？

- 現状で農地所有者の35%は農地を貸している。

農地の現状

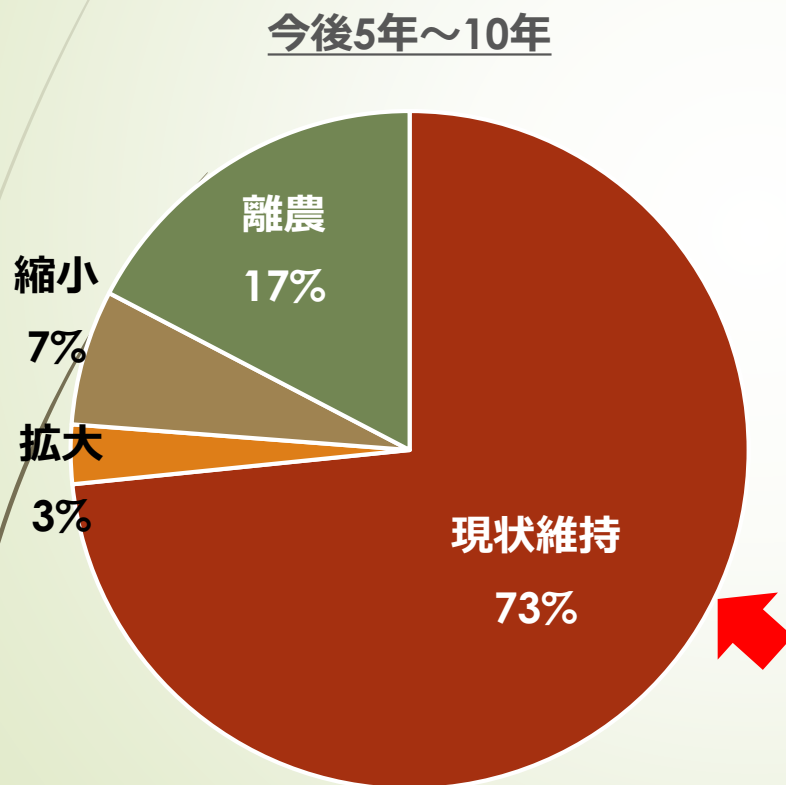


コメント：

- ・今は貸しているが、その方も高齢で後継者も居ない。

Q3. 5～10年後を考え、あなたはどのようにしていきたいですか？

- 今後も現状維持するとの意向が73%あった。
- 一方、農業を辞める、規模縮小する、との回答も併せて24%あった。



設問への回答数：248

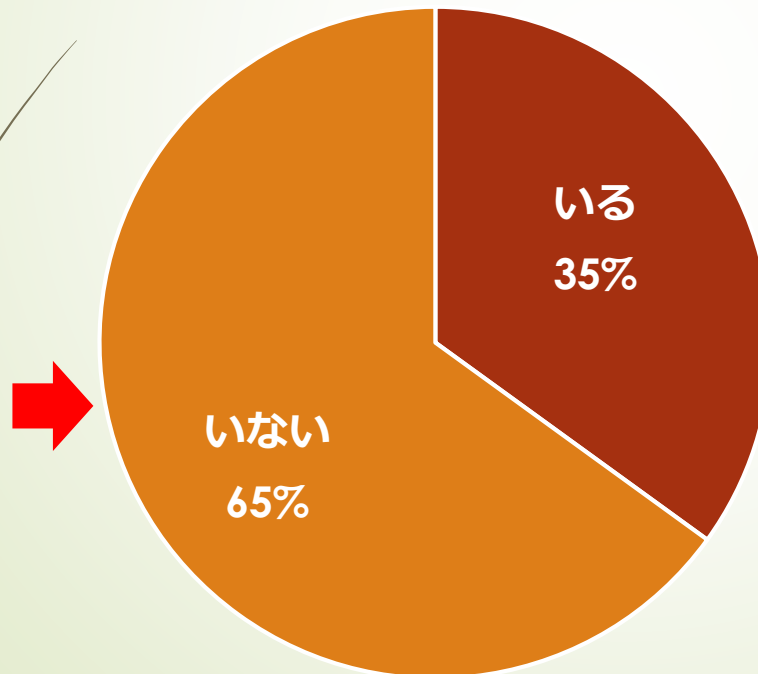
コメント：

- ・当分お金を払って管理をし、世の成り行きを見る。
- ・家庭菜園的な利用のみで、今後の変更の予定はない。
- ・もともと家庭菜園程度のものでしたが。住人が居なくなったので困っている。(縮小)
- ・兄や弟は継ぐ気はない。子供が成長した時に考えを聞く予定。継続は考えていない。現状遊んでいる土地は貸したい気持ちもあります。(離農)
- ・今は庭の手入れに週一回通っている。子供はいますが、農業はしないと思う。(66才)
- ・蜂アレルギーで3～4回救急車搬送されたしして、嫌気がさして草刈りのみで農業してなかったが、そろそろしようと思っている。(80才)

Q4. 後継者（農業後継者）はいますか？

- 農業後継者のいない割合が65%あった。
- 跡継ぎは居ても農業を継がないあるいは継ぐかどうかは不明であるケースがある。一方で、将来的な後継の存在も伺える。

農業後継者



コメント：

- ・ 子供はいるがまだ（あとを継ぐかどうか）わからない。
- ・ （子供はいるが）農業の後継者はいない。
- ・ 相続する者は居ますが、農業をやるかしないかは未定です。
- ・ 農業者、後継者不足は5年後10年後どうなる。人材不足はどうしようもない。
- ・ 70才で仕事を退職したら香南市の実家の方へ引っ越して、多少は農業をやろうかと考えている。

アンケート集計 (7)

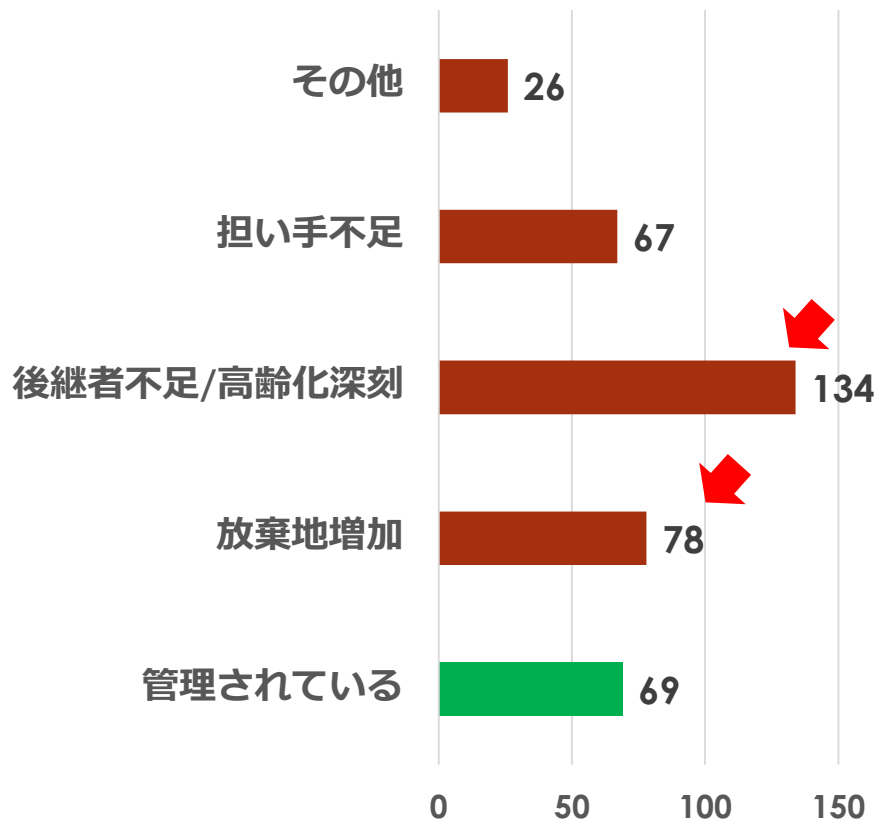
地域の状況認識

12

Q5. あなたの地域の農地や農業者の状況は、いまどのようになっていますか？

- 後継者不足や高齢化が深刻であるとの認識が多い。

地域の農業者/農地の状況



設問への回答数 : 374

コメント :

- 圃場整備地区以外は、耕作放棄地が増える。
- 年数回帰高し管理している。(埼玉在住)
- 長男は死亡し孫は高知には居ない。耕作放棄をしている。
- 周辺の田畑・ハウスはほぼ耕作・管理できているようです。詳しいことはわからないが、概ね維持できていると思う。当地の隣接地は放置されて2年目になる。
- 土地は道路(になっている)
- 若い方が他産業へ行っている。
- そちらに住んでいるのでわからない。(大阪在住)
- 川崎市在住のため不明
- 居住していないのでわかりません。(船橋市)
- 居住していないのでわからない。(高知市)
- 地域にいない為わからない(東京在住)
- よくわからない。
- 農業に携わっていないのでよくわからない。
- 自然農法していますので農薬の地域的散布は困る。
- 地域の方をお願いして作物を作っていただいています。
- 今年8月までは作ってくれるが、それ以後は耕作してくれる人が居ないので、困っている。
- 南海大地震、津波が30年以内で70%と予測されている現状、海に近い岸本では、人は入ってこないでしょう。
- 年2回香南市在住の方に草刈りを依頼しています。
- 何も無い
- そのままになっている。

アンケート集計 (8)

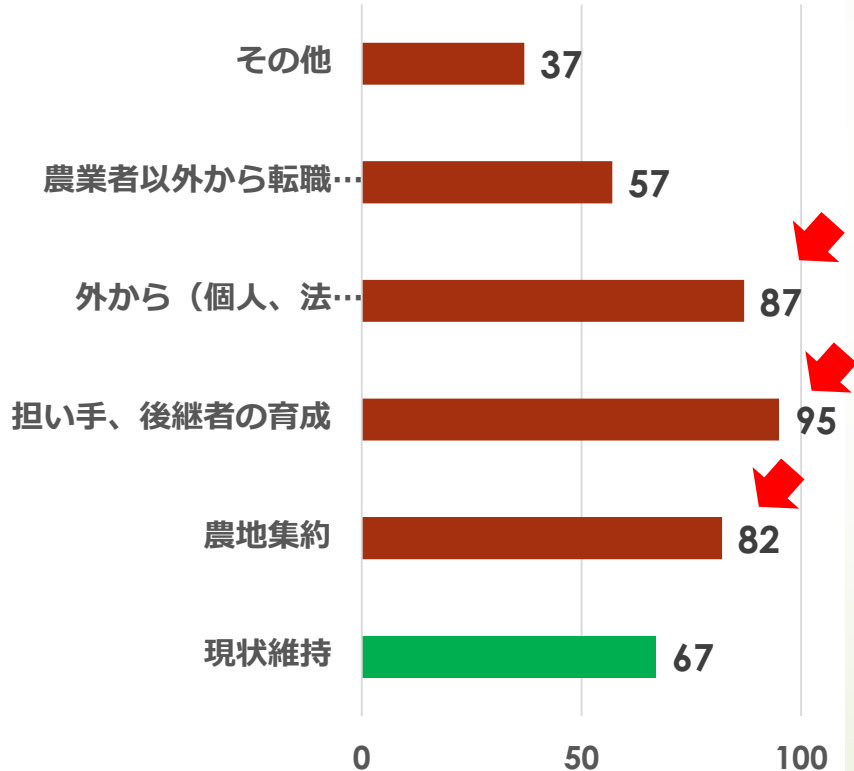
持続可能な農業のために

13

Q6. あなたの地域の農業が5~10年後も持続可能なものとするために、どうしたらよいと思いますか？

■ 現状では地域の農業を維持できる状況ではなさそうである。

持続可能な農業



設問への回答数 : 425

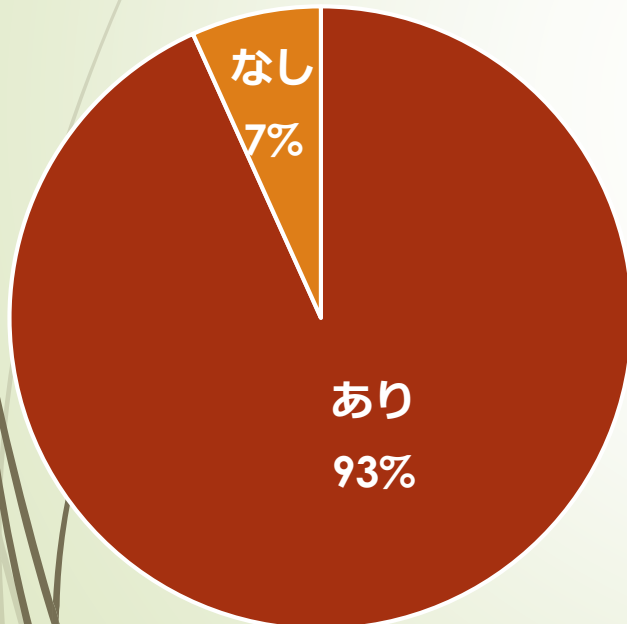
コメント

- ・ 農家の手取りを増やすような魅力的な政策を希望。
- ・ 現状、賃借料の減少、維持困難(固定資産税+賦課金)/賦課金を少なくしてほしい。
- ・ 農業を継続することができないので、地域で農業をしている方が、(農業を)出来るように取り組んでいただきたい。
- ・ 中間管理機構を利用する。
- ・ 新たな土地の利用方法を考える
- ・ 状況がわからないので、わかりません。(大阪府在住)
- ・ 他県在住なので詳しくはわからない。
- ・ よくわからない/分かりません。
- ・ (持続可能な農業) 不明
- ・ どうしていいのかわからない。/わからない
- ・ わからない/分からない。
- ・ 地域状況不明です。
- ・ 農業に携わっていないのでよくわからない。
- ・ 農地といっても広くないので、難しいことはわかりません。
- ・ 現在87才なので先の事は考えられない。
- ・ 持続可能な農業：可能(性)なし
- ・ 全て無理だと思う。
- ・ バカな事するな。経費がどれだけいるか。
- ・ お願いしないといけない立場だから言えない。

Q7. あなたの農地で、売ったり貸したりしてもよい農地やハウスがあれば教えてください。

- 貸し希望の背景は、農業者が体力的に続けられない状況がある。
- 売却希望の背景には、借地者が高齢、その後継者がいないケース、県外/市外に在住しており耕作地までが遠距離のケースなどがある。

売り貸し候補地



設問への回答数：91

コメント

【貸したい】

- ・ みかん後で石ころがある。水が来ない。
- ・ 遠くて、小面積の為。(1100㎡)
- ・ 年齢的にしんどくなってきた。(61才)
- ・ 小作権をあまり主張する人には貸したくない。
- ・ 高齢で維持管理する者が居ない。
- ・ 高齢の為
- ・ 一人でするには広すぎる。

【売りたい貸したい】

- ・ 誰も管理する者が居ない。耕作放棄していますが、無料でよいので作って下さる方があれば、お世話ください。尚、手放しても良いです。
- ・ あまり現在利用していないので。手入れが大変である。
- ・ 現状管理する者が居ない為。
- ・ 維持管理が困難
- ・ 水がなく不便
- ・ 高齢化、維持管理者が居ない。/高齢化により維持管理不能。
- ・ 現在87才なので先の事は考えられない。
- ・ 維持管理ができなくなる。(71才)
- ・ 現在は米作りをするために貸してはいるが、作り手が高齢の為、いつ辞めてしまうかわからないので不安。
- ・ 高齢+後継者なし。管理不能。(無償でよいので活用して下さる方があれば、大変ありがたい。)
- ・ 畑は耕作放棄地状態ですが、車の入っていけない立地の為、分譲することもできません。貸すことはできますが、道路から一輪車などで30mくらい入らないといけません。

【売りたい】

- ・高齢化と土地の管理が自分でできず、人任せになっています。いつまでもこれでは困りますので、売却します。直接電話をください。東京在住。
- ・水路、道は良好なので5~10年後買い手があれば売りたい。(72才)
- ・現在貸しているが、耕作してくれている人も高齢。後継者も居ない。
- ・維持管理する者が居ない。長男、次男とも県外。
- ・道が狭い。
- ・作付け条件が悪い。
- ・維持管理する者が居ない。
- ・主人が元気な時は家庭菜園として使っていましたが、主人が死亡。後を継ぐ人(子供)がいないので売りたい。
- ・家屋共に維持管理が困難となるため
- ・耕作はしているが、先では手放したいと思っている。水の便は良い。継ぐ人が居ない。
- ・農業をする人が居ないので買ってくれる人がいたら売りたい。高齢で住んでいるところも高知市で遠い。
- ・現在農業公社を通じて貸し中であるが、後継者が居なく、売却希望。
- ・墓地用に買った土地ですが、その必要がなくなったので。高齢の為、管理が難しくなったので、可能なら市に寄付したいと思います。(156㎡)
- ・早急に売りたいです。(農地)購入時と人生計画が変わってきています。
- ・県外在住で維持管理者が居ないため
- ・岸本に住む人が居なくなり、管理もできない。
- ・維持管理が無理
- ・現在の耕作者へ売却検討中。
- ・正確な地番が不明であり面積もわずかであるが、売却できるものなら処分したい
- ・現地に不在、相続者も居ない。早く手放したい。(川崎在住)
- ・維持管理が困難
- ・高齢化
- ・高齢化、後継者が居ない
- ・高齢化で維持が難しくなり売りたいです。
- ・子供たちは皆県外在住の為、帰高する者もいない。
- ・市に引き取って欲しい。税金を納めたくない。

【借りたい】

- ・徳王子でハウス20-30a借りたい。

■ アンケートからの農地の売却・賃貸希望の背景まとめ

16

農業者側の事情

- 高齢化、体力・気力低下
- 所有者/借地者の病気
- 遠方に在住
- 農機具を所有していない
- 他の仕事に専念
- 後継者不在/跡継ぎまで年数要
- 耕作者である借地人も高齢/後継者が居ない

農地を農地として管理できない。

耕作条件

- 小さい農地区画
- インフラ（農道/水路）不備
- 病害（生姜）/使用形態（養殖）

農地としての適性が低い。

稲作の採算

- 米づくりは赤字

農業（稲作）を続けられない。

資産活用

- 生活費の捻出
- 事業の資金の調達
- 貸地としても経費（公租公課、水利）要

農業以外で資金需要がある。

賃貸

売却